

橋の長寿命化修繕計画



(東堀橋：甲斐市岩森 昭和54年竣工 橋長44m)

令和4年12月改訂

甲斐市 都市建設部 建設課

1. 長寿命化修繕計画策定の目的

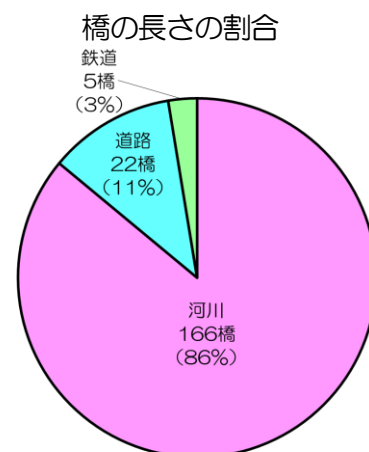
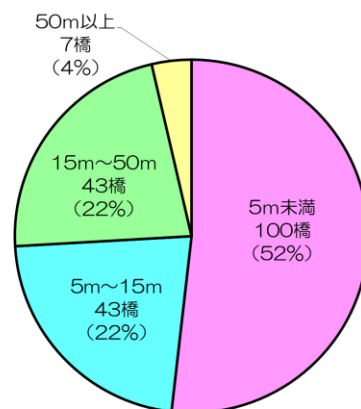
1) 背景

甲斐市が管理する（農林道を除く）橋は、令和4年12月末現在で193橋あります（大型ボックスカルバート含む）。

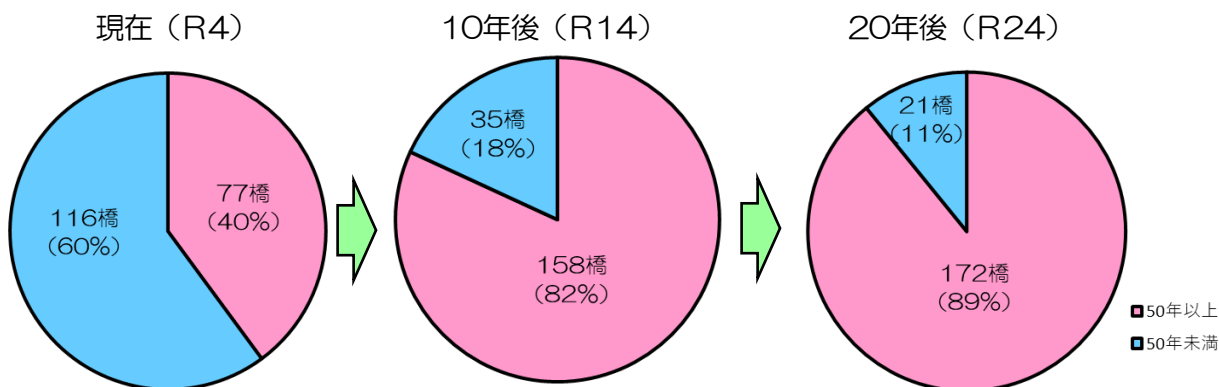
市で管理する橋の特徴としては、長さ15m未満の橋が約7割を占めており、短い橋が非常に多いことがあげられます。また、表紙の写真の東堀橋をはじめとして、中央道を跨ぐ橋が約1割を占めていて、跨道橋（道路を跨ぐ橋）の数・割合ともに、山梨県内でも有数の多さです。

これらの橋のうち、推定を含めて昭和43年までに建設され、既に建設後50年以上経過した橋は、現在77橋（40%）ですが、20年後の令和24年度には172橋（89%）となり、建設後50年以上経過する橋が実に5分の4以上を占めることとなります。

一般に橋の耐用年数は50年から60年程度であることから、傷みがひどくなってから修繕工事を行うといった、これまでのような対症療法的な維持管理を続けた場合、橋の修繕工事や架替え工事に関する費用が、急激に増加していくことが予想されます。



橋と交差する種類の割合



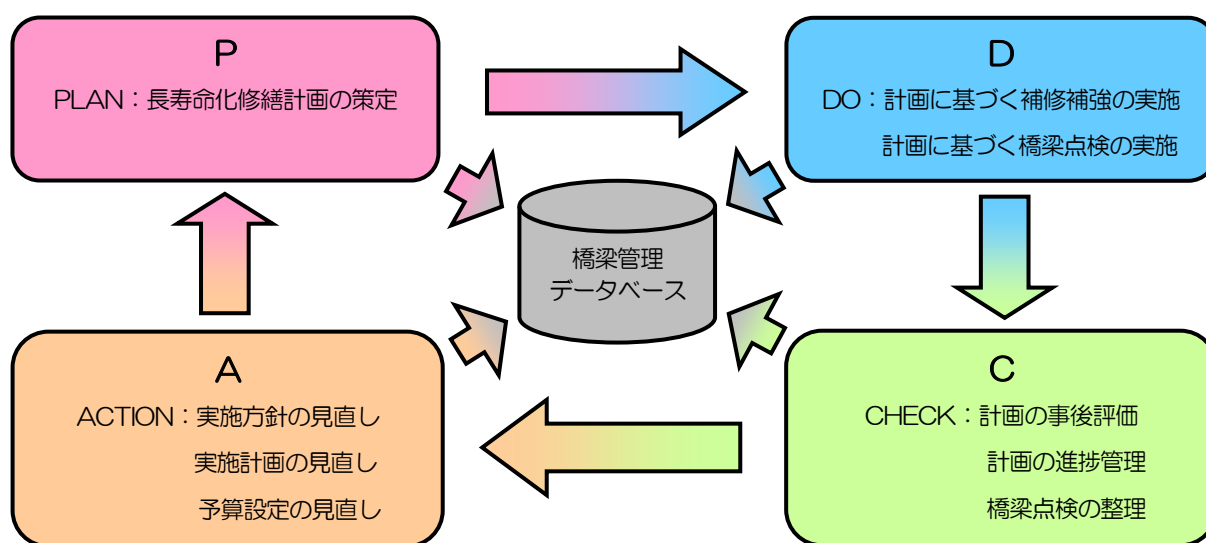
建設後50年以上を経過する橋の割合

2) 目的

このような背景から、限られた予算の中でより効率的に橋を維持していく取り組みが必要となっています。

そこで甲斐市では、アセットマネジメント手法^{※1}の導入により、従来の対症療法型（事後保全型）管理^{※2}から予防保全型（長寿命化型）管理^{※3}へと管理手法を転換することにより、コストの縮減を図りながら、橋の健全性の低下を防止し寿命を延ばすことで、安全性・信頼性を確保した道路サービスを恒久的に提供するために、橋の長寿命化修繕計画を策定することとしました。

以下に、今後の橋の管理方法についてのPDCAサイクルを示します。



※1…アセットマネジメント手法

道路橋を資産として捉え、その資産の状態を定量的に把握・評価して、中長期的な予測を行い、限られた予算制約の中で、求めるサービス水準を確保するために、いつどのような対策を行うのが最適であるかということを決定し実施していく総合的な管理手法。

※2…対症療法型（事後保全型）管理

損傷が甚大になってから、対症療法的に対策を実施する管理手法。

※3…予防保全型（長寿命化型）管理

損傷が軽微なうちに、予防的措置を含めて対策を実施する管理手法。

橋の長寿命化が図れる。

2. 長寿命化修繕計画の対象となる橋

1) 対象となる橋の選定方針

計画の対象となる橋は、農林道橋を除いた193橋とします(大型ボックスカルバート含む)。

2) 対象となる橋の数

計画の対象となる橋の数を、市道等級別に示します。

	市道1級	市道2級	市道その他	合計
管理している橋の数	30	12	151	193
うち計画対象となる橋の数	30	12	151	193
うち平成25年度に計画策定した橋の数	22	13	126	161
うち令和4年度に計画策定した橋の数	30	12	151	193

3) 対象となる橋の例

計画の対象となる橋の例を、写真で示します。なお、表紙の東堀橋も対象となる橋です。



宇津谷橋



岩森橋



坊沢橋



金石橋



八幡橋



鳥ヶ池橋



竜王赤坂橋



みゆきばし



久保橋

3. 老朽化対策における基本方針

1) 健全度の把握に関する基本的な方針

甲斐市では、平成26年度から令和3年度にかけて、計画の対象となる193橋（大型ボックスカルバート含む）について点検を実施しました。甲斐市における健全性状況は、予防保全段階Ⅱが48橋、早期措置段階Ⅲが4橋であり、対策を行う必要がある橋の数は全体の27%です。

今後も引き続き、市職員による簡易点検と専門家による詳細点検を定期的実施し、早期措置段階Ⅲと判定された橋を優先的に修繕していくこととします。

また、この定期的な点検の実施と、適切な維持管理・補修データの蓄積により、橋の長寿命化への取り組みを充実させていくこととします。



点検車による点検実施状況（宇津谷橋）

区分		定義	橋梁数	割合
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	141	73%
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	48	25%
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	4	2%
IV	緊急処置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	0	0%

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋の長寿命化とは、50年から60年という一般的な耐用年数（寿命）を超えても長期的に橋の安全性を確保しながら維持管理していくことです。橋の寿命には、「初期性能」、「使用・環境状況」および「維持・管理状況」の3つの要素が相互に影響します。初期性能は建設当初で決まっていますが、残り2つの要素は維持管理の仕方によって寿命が支配されます。

そこで、甲斐市においては以下に示す維持管理方針をとることとします。

- 日頃のメンテナンスを繰り返すことによって、劣化の進行速度を抑え、長期的な健全性の確保につなげることとします。
- 具体的な重点対策として、橋の端部や排水ますなどに溜まった土砂の詰りを小まめに処理することとします。



橋の端部の土砂堆積

排水ますの土砂詰り

3) 対象となる橋に関するその他の基本的な方針

優先度評価指標（交差条件、自動車交通量、損傷状況など）に基づいて設定された優先順位にしたがい、予算規模に応じて修繕工事を順次実施していく計画とします。

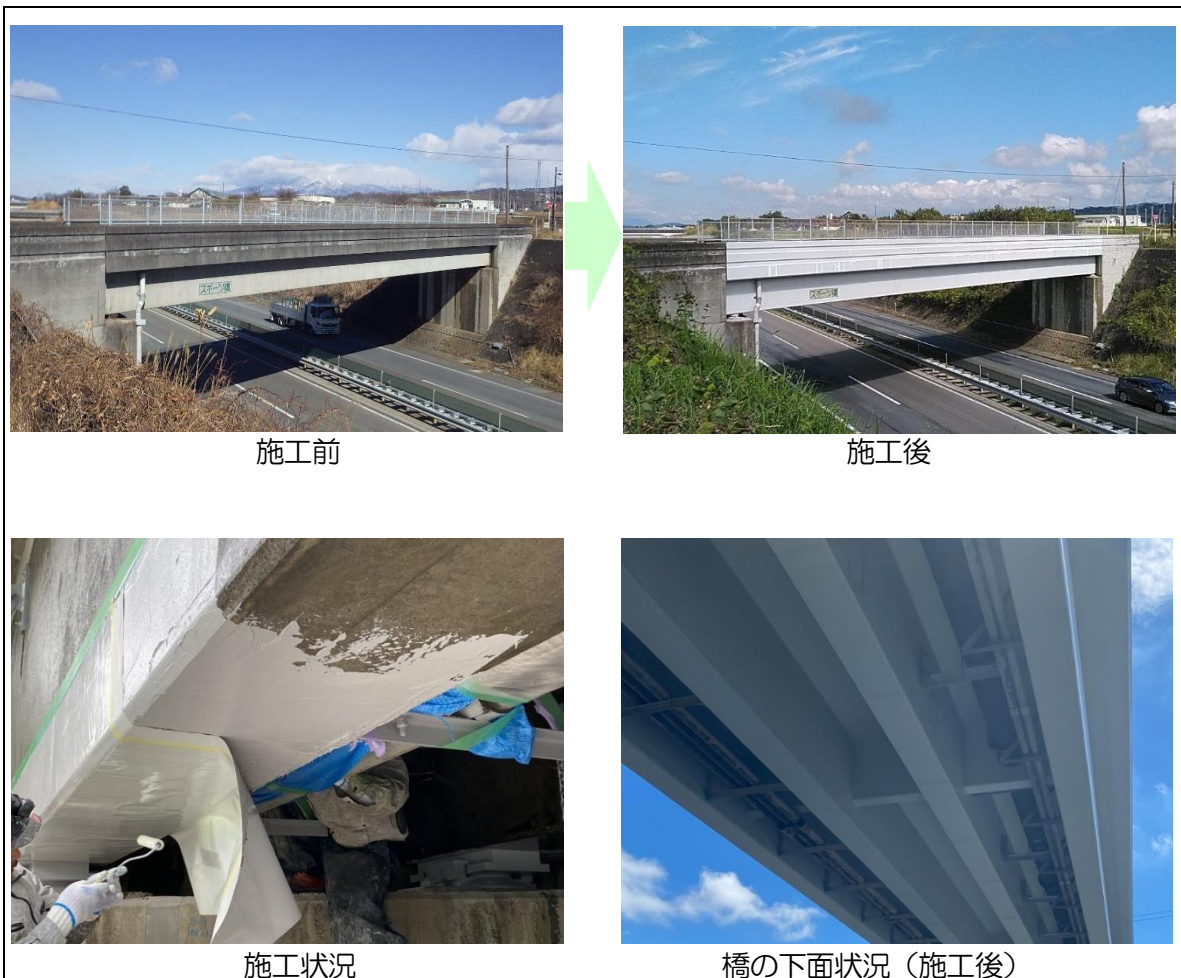
計画の対象となる橋を長寿命化型管理により寿命を延ばす（今後100年間維持し続ける）ということは、必然的に供用期間中に「東日本大震災」をはじめとする大規模地震の影響を受ける可能性が非常に高くなるということを意味します。

そこで甲斐市では、市民の安全・安心を確保するため、優先度の高い道路、高速道路や鉄道を跨ぐ橋、迂回路の無い橋のうち、現行基準の耐震性能を満足していない橋について、耐震補強を実施します。なお、耐震補強は、現時点で確認されている損傷に対する対策を全て完了させてから順次実施していく計画とします。

また、高速道路および鉄道を跨ぐ橋については、NEXCO中日本やJR東日本と調整し、国・県の指導の下で近隣自治体とも歩調を合わせ、「はく落防止対策工」を実施していく計画とします。

この「はく落防止対策工」とは、市が管理する橋の一部がはがれ落ちて中央道を通過している車に当たってしまうと、小さなかけらでも大事故につながる恐れがあることから実施します。具体的には、橋の下面や側面に繊維シートを含む表面被覆材を貼り付けることにより、橋の表面を保護する方法が一般的です。

はく落防止対策工の施工例（スポーツ橋 令和3年9月施工）

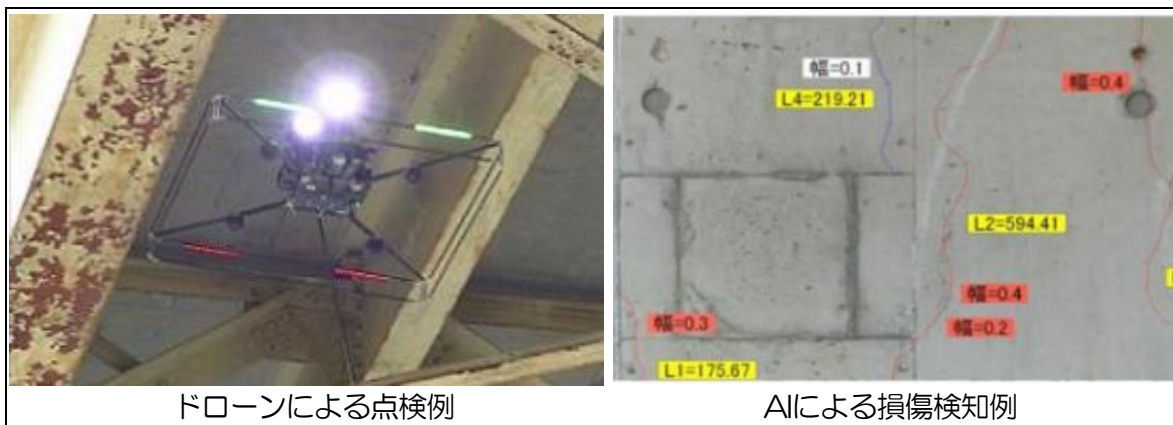


4. 新技術等の活用方針

1) 橋の点検における新技術の活用

定期点検の効率化や高度化を図るために、令和3年10月に国土交通省より作成された「点検支援技術 性能カタログ」を参考にして、ドローン等の点検ロボットやAI技術による点検支援技術等の導入を検討していきます。

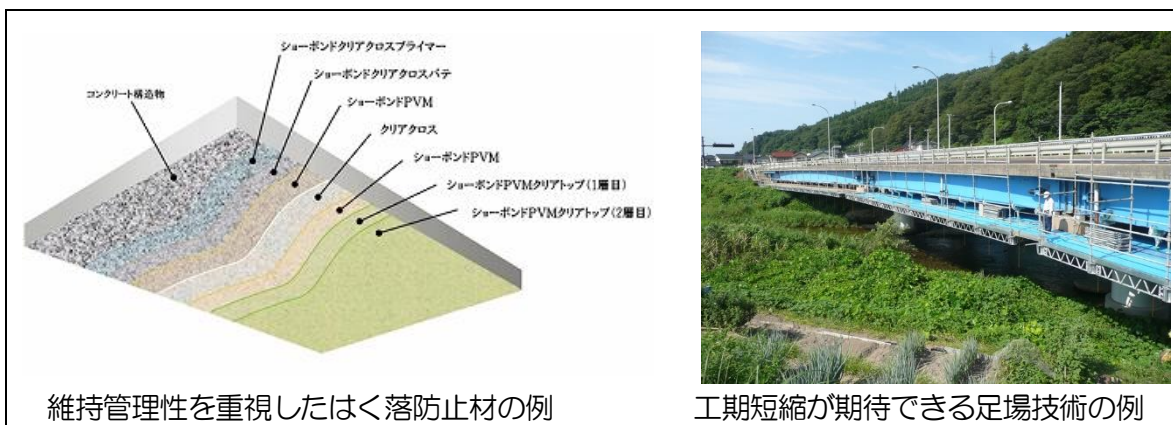
点検支援技術の例



2) 修繕工事における新技術の活用

修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために、新技術情報提供システム（NETIS）に登録され、初期コストおよびライフサイクルコスト※を低減できる新工法や新材料等の導入を検討していきます。

修繕等で効果が期待される新工法および新材料の例



※・・・ライフサイクルコスト：残存供用期間中に必要となるトータルコスト

3) 短期的な目標

令和7年度までに、管理する193橋（大型ボックスカルバート含む）のうち約5%程度の橋に対して、定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減を図るための新技術等の活用を目指します。

また、前回定期点検で橋梁点検車を使用した橋（管理する橋の約1割）については、次回定期点検時に新技術等の活用を重点的に検討し、令和7年度までに点検費用を約1百万円縮減することを目標とします。

5. 老朽化対策に必要となる費用の縮減に関する具体的な方針

1) 老朽化対策の違いについて

老朽化対策は、架替え、補強、補修、維持、集約化・撤去の5種類に大別できます。

① 架替え

落橋の恐れがあるほどの構造上致命的な損傷がある場合や、道路幅員を拡げる、河川断面を拡げるなどの利便性や機能性を向上させたい場合は、架替えが行われます。

② 補強

主に耐震補強が該当します。橋に関する基準は、「道路橋示方書・同解説」を例にとると、平成29年度版が最新の基準となっています。したがって、過去の基準（特に昭和55年以前）で建設された橋は、現在想定されている最大級の地震発生時に使用不可となる可能性があるため、現行の基準に対応させることを目的に行われるのが補強です。

③ 補修

橋に生じた損傷を直し、もとの機能に回復させること目的とした措置をいいます。



④ 維持

橋の機能を保持するため、日常計画的に反復して行われる清掃などの措置をいいます。

⑤ 集約化・撤去

管理対象を減らし維持管理費を縮減するため、交通需要が少なく近隣に代替路がある橋を撤去し、交通状況を代替路の橋に集約することをいいます。

2) 老朽化対策に必要な費用の縮減に関する基本的な方針

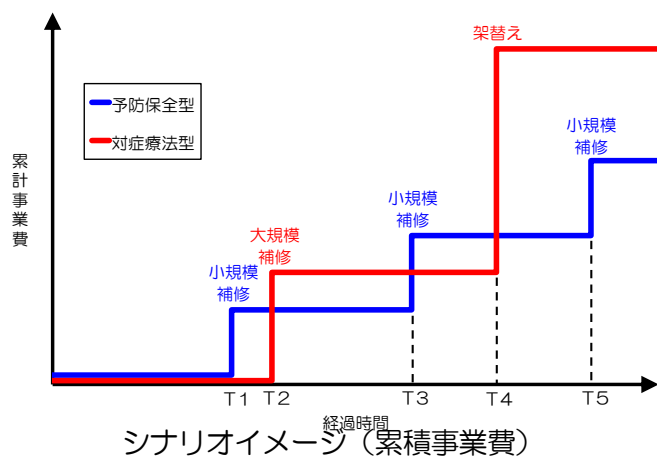
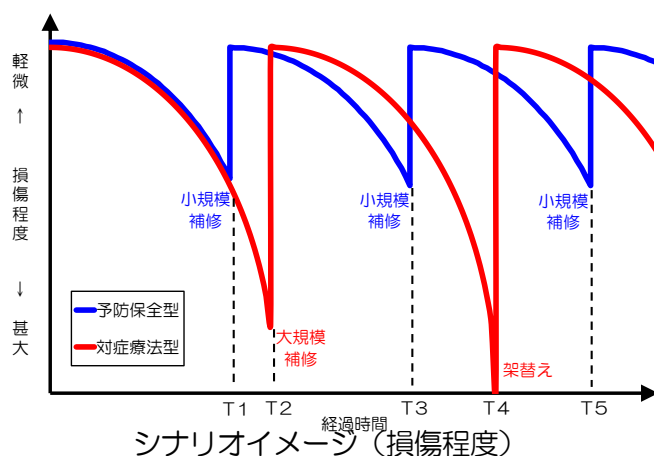
各々の橋に対し、以下に示す2つのシナリオで100年間のライフサイクルコスト※を算出し、比較検討した結果、より経済的であるシナリオを、その橋の最適シナリオとします。

① 予防保全型（長寿命化型）管理

損傷程度が軽微なうちに、予防的措置を含めて対策を実施します。この場合、架替えの時期に達しても架替えを行うような損傷は生じていないため、今後100年間は維持し続けます。

② 対症療法型（事後保全型）管理

損傷程度が甚大になってから、対症療法的に対策を実施します。この場合、架替えの時期に達したら架替えを行います。架替え後についても、損傷が甚大になってから対症療法的に対策を実施します。



したがって、最適シナリオが対症療法型となった場合は架替えを行う橋とし、予防保全型となった場合は原則として架替えは行わず維持管理していく方針とします。

③ 集約化・撤去

交通需要が少なく近隣に代替路がある橋は、地域の意見を踏まえながら令和7年度までに、1橋程度の集約化・撤去の可否を検討します。

6. 長寿命化修繕計画の策定結果

今後10年間（令和4年度から令和13年度）の修繕（補強、補修および維持）および点検計画表を以下に示します。

橋梁番号	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	橋梁 分類	橋長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
								最新 点検年度	判定 区分				
R-0030	無名橋	竜王田中線	竜王地内	S45	RC橋	2.2	14.5	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0041	無名橋	信玄堤玉川線	竜王地内	不明	C-BOX	3.3	4.7	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0042	無名橋	信玄堤玉川線	西八幡地内	S45	RC橋	2.2	28.5	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0060	無名橋	竜王本線	竜王地内	S64	RC橋	2.3	6.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0070	無名橋	上篠原玉小線	篠原地内	S45	RC橋	2.1	14.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0071	無名橋	上篠原玉小線	西八幡地内	不明	C-BOX	2.6	6.2	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0100	無名橋	榎新田線	万才地内	S45	RC橋	2.9	4.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0110	無名橋	玉川万才線	玉川地内	S35	RC橋	2.2	6.4	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0111	無名橋	玉川万才線	西八幡地内	不明	C-BOX	4.0	11.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0130	無名橋	玉川村中線	玉川地内	S45	RC橋	2.0	6.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0190	無名橋	竜王瀬間分線	竜王地内	S40	RC橋	3.1	6.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0200	無名橋	中八幡玉幡中学校線	西八幡地内	不明	C-BOX	2.7	9.7	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0380	無名橋	竜王宮ノ前線	竜王地内	不明	C-BOX	2.3	5.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0420	無名橋	四ツ谷新町線	竜王地内	不明	C-BOX	3.0	24.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0570	無名橋	清水沖田線	竜王新町地内	不明	C-BOX	2.8	7.1	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0780	無名橋	伊勢河原線	富竹新田地内	不明	RC橋	3.5	4.7	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0860	無名橋	古村新道線	篠原地内	S45	RC橋	2.4	4.9	H29	II	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-0940	無名橋	富竹新田徳行線	富竹新田地内	不明	RC橋	2.4	4.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1230	無名橋	施餓鬼田五本松線	西八幡地内	S40	RC橋	2.4	10.6	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1280	無名橋	中八幡中道線	西八幡地内	不明	C-BOX	2.6	5.4	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1281	無名橋	中八幡中道線	西八幡地内	不明	C-BOX	2.3	8.3	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1300	無名橋	一本橋道線	西八幡地内	不明	C-BOX	2.4	4.5	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1380	無名橋	榎浜海道東線	篠原地内	不明	C-BOX	2.3	6.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1480	無名橋	下堰通学道線	玉川地内	S45	RC橋	2.5	13.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1510	無名橋	玉川通学道線	玉川地内	H10	RC橋	2.1	15.7	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1520	無名橋	松ノ木線	玉川地内	S35	RC橋	2.4	5.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1640	無名橋	里ノ内冷久保線	玉川地内	S40	RC橋	2.1	4.3	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1710	無名橋	片瀬岡目塚線	竜王地内	S40	PC橋	18.8	2.9	H29	I	R4	修繕 剥落対策	R11	1,900
R-1711	無名橋	片瀬岡目塚線	竜王地内	S40	PC橋	19.2	2.9	H29	II	R4	修繕 剥落対策	R11	1,900
R-1780	無名橋	上八幡美元橋線	西八幡地内	S60	RC橋	2.2	9.7	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1790	無名橋	五本松柳原線	西八幡地内	S64	RC橋	3.9	12.8	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1791	無名橋	五本松柳原線	西八幡地内	不明	RC橋	3.1	8.1	R2	II	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-1940	無名橋	田中戸田道下線	篠原地内	S40	RC橋	2.1	4.1	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—

橋梁番号	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	橋梁 分類	橋長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
								最新 点検年度	判定 区分				
R-2030	無名橋	東冷間南小線	西八幡地内	S45	RC橋	11.3	96	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2050	みゆきばし	三社神社宮ノ前線	竜王地内	H3	PC橋	22.1	7.7	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2070	無名橋	御神塚線	西八幡地内	S45	RC橋	3.7	12.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2180	無名橋	富竹新田西八幡線	篠原地内	不明	RC橋	2.2	26.1	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2270	無名橋	玉川冷間住宅線	玉川地内	不明	C-BOX	2.3	8.3	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2271	無名橋	玉川冷間住宅線	玉川地内	不明	RC橋	2.0	6.1	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2380	無名橋	五本松下堰本道線	西八幡地内	不明	C-BOX	2.3	6.5	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2400	無名橋	下河原1号線	竜王地内	S55	RC橋	2.2	5.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2401	無名橋	下河原1号線	竜王地内	S55	RC橋	2.0	13.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2402	木浅日橋	下河原1号線	竜王地内	S62	鋼橋	10.0	7.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2410	無名橋	中央道側道新町東線	竜王新町地内	S50	RC橋	3.5	4.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2411	無名橋	中央道側道新町東線	竜王新町地内	S50	RC橋	4.0	4.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2412	無名橋	中央道側道新町東線	竜王新町地内	S50	RC橋	3.7	4.3	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2413	竜王赤坂橋	中央道側道新町東線	竜王新町地内	S54	PC橋	46.9	6.9	H29	II	R5	修繕 剥落対策	R5	9,450
R-2420	無名橋	中央道側道新町西線	竜王新町地内	S50	RC橋	3.5	6.5	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2421	無名橋	中央道側道新町西線	竜王新町地内	S50	RC橋	3.6	6.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2422	無名橋	中央道側道新町西線	竜王新町地内	S50	RC橋	3.4	6.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2450	無名橋	中央道側道富竹新田東線	富竹新田地内	S50	RC橋	2.7	7.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2451	無名橋	中央道側道富竹新田東線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.3	5.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2460	無名橋	中央道側道富竹新田西線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.3	5.7	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2461	無名橋	中央道側道富竹新田西線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.3	4.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2470	無名橋	中央道側道万才東線	富竹新田地内	S50	RC橋	2.8	4.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2471	無名橋	中央道側道万才東線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.6	5.9	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2473	無名橋	中央道側道万才東線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.2	4.1	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2474	無名橋	中央道側道万才東線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.2	4.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2480	無名橋	中央道側道万才西線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.7	4.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2482	無名橋	中央道側道万才西線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.3	5.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2483	無名橋	中央道側道万才西線	富竹新田地内	S50	RC橋	3.2	5.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2530	無名橋	西小学校線	玉川地内	不明	RC橋	2.1	13.9	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2570	無名橋	五反田支線2号線	竜王新町地内	S55	RC橋	4.3	8.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-2720	無名橋	竜王瀬間分北線	竜王地内	S55	RC橋	2.0	9.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-3320	無名橋	竜王元信玄橋線	竜王地内	S40	RC橋	4.8	14.9	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-3800	無名橋	新町氏神前支線	竜王新町地内	S50	RC橋	2.1	4.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-4270	無名橋	新原中向線	篠原地内	S55	RC橋	2.7	5.5	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-4630	甲斐貴川橋	竜王駅北通り線	大下条地内	H18	PC橋	27.9	30.3	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
R-4690	無名橋	五反田宅造1号線	竜王新町地内	S45	RC橋	2.5	9.3	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—

橋梁番号	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	橋梁 分類	橋長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
								最新 点検年度	判定 区分				
S-0001	長塚橋	長塚名取線	長塚地内	H30	複合橋	17.8	7.7	R1	I	R6	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0002	勸進橋	大下条名取線	大下条地内	H12	PC橋	19.7	11.3	H29	II	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0003	第2中央道橋	中央道金ノ尾2号線	大下条地内	S50	RC橋	3.2	3.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0004	金尾橋	中央道金ノ尾2号線	大下条地内	S54	RC橋	11.1	5.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0005	第1中央道橋	中央道金ノ尾1号線	大下条地内	S50	RC橋	3.5	6.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0006	上河原橋	金ノ尾西川端1号線	大下条地内	S45	RC橋	3.7	8.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0007	東側橋	中沢東側線	長塚地内	S45	RC橋	2.3	5.3	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0008	御岳田橋	大下条竜王赤坂線	大下条地内	S45	RC橋	2.2	9.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0009	下条橋	大下条竜王赤坂線	大下条地内	S61	RC橋	4.0	5.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0010	貫川橋	大下条竜王赤坂線	大下条地内	S55	PC橋	10.6	4.8	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0011	さつき野第5橋	さつき野5号線	大下条地内	S50	RC橋	4.1	4.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0012	さつき野第4橋	さつき野3号線	大下条地内	S50	RC橋	4.1	6.3	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0013	さつき野第3橋	さつき野1号線	大下条地内	S50	RC橋	4.4	4.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0014	さつき野第2橋	さつき野中線	中下条地内	不明	RC橋	2.2	6.3	R2	II	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0015	さつき野第1橋	さつき野西線	中下条地内	不明	C-BOX	2.2	4.6	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0016	新田橋	開発1号線	中下条地内	不明	C-BOX	2.4	16.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0017	中更橋	開発1号線	中下条地内	不明	C-BOX	2.3	16.3	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0019	東河橋	島上条東河原1号線	島上条地内	H10	RC橋	2.1	1.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0020	東町橋	東町仲2号線	島上条地内	S35	RC橋	2.1	2.7	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0021	大庭橋	川辺町堅町線	島上条地内	S40	RC橋	2.3	4.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0022	八幡橋	上町山宮線	島上条地内	S57	鋼橋	72.2	6.2	H30	II	R5	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0023	塚田橋	塚田宅造1号線	島上条地内	S55	RC橋	5.6	4.8	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0024	蟹河原橋	蟹河原南線	天狗沢地内	S45	鋼橋	10.6	3.6	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0025	天狗沢大橋	蟹河原2号線	天狗沢地内	S50	鋼橋	7.3	3.7	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0026	泉橋	蟹河原1号線	天狗沢地内	S45	鋼橋	8.2	3.6	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0027	大塚天橋	大久保村前線	大久保地内	S55	鋼橋	7.0	3.7	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0028	大神橋	天狗沢大久保線	大久保地内	S47	鋼橋	8.7	4.7	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0029	村東橋	大久保敷島台線	大久保地内	S45	RC橋	2.3	5.1	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0030	大塚橋	大石田境線	境地内	S45	RC橋	2.0	7.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0033	桑ノ木原橋	上桑ノ木原線	牛勾地内	S40	RC橋	2.4	7.9	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0034	金石橋	金石橋線	牛勾地内	S50	鋼橋	75.2	7.5	H30	III	R5	修繕	R4	5,150
S-0035	鳥居坂橋	鳥居坂桜橋線	牛勾地内	S53	RC橋	19.0	5.0	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0036	とりのいざか橋	鳥居坂大下線	牛勾地内	不明	C-BOX	2.1	5.8	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0037	第2菩提橋	大下須臾線	亀沢地内	S55	RC橋	6.5	4.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0038	広瀬橋	大下須臾線	亀沢地内	S54	PC橋	17.7	5.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0039	菩提沢橋	大下村中巡回線	亀沢地内	S45	鋼橋	9.1	2.4	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—

橋梁番号	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	橋梁 分類	橋長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
								最新 点検年度	判定 区分				
S-0040	新中下橋	中下御領線	亀沢地内	S54	PC橋	21.7	60	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0041	中島橋	中島1号線	吉沢地内	不明	鋼橋	8.2	1.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0042	宮ノ平橋	外道線	吉沢地内	H2	PC橋	8.5	6.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0043	中村橋	中村線	亀沢地内	S45	PC橋	12.2	3.6	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0044	第3打返橋	藤ノ木中村線	亀沢地内	不明	C-BOX	3.6	5.7	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0045	笹窪橋	藤ノ木中村線	亀沢地内	S64	RC橋	5.7	5.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0047	南畑橋	獅子平線	獅子平地内	S52	鋼橋	10.5	3.1	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0048	獅子平橋	獅子平外道線	獅子平地内	S52	PC橋	12.1	3.9	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0049	安寺橋	安寺前屋線	下福沢地内	S52	鋼橋	12.5	3.1	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0051	北ノ里橋	下管口北ノ里線	上管口地内	不明	RC橋	3.1	4.6	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0052	天神沢橋	下福沢安寺線	下福沢地内	S64	RC橋	7.1	2.4	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0053	下芦沢橋	小川線	下芦沢地内	S48	PC橋	11.1	4.8	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0054	立岡橋	下芦沢村中2号線	下芦沢地内	S50	鋼橋	7.0	2.5	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0055	無川橋	下芦沢線	下芦沢地内	S45	RC橋	6.7	4.8	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0056	板橋橋	平見城2号線	下芦沢地内	S45	RC橋	3.8	4.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0057	古沢橋	平見城1号線	下芦沢地内	S55	RC橋	5.0	4.4	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0058	山神平橋	平見城1号線	下芦沢地内	S55	RC橋	5.0	4.5	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0109	久保橋	中村新1号線	亀沢地内	S53	PC橋	22.1	7.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0110	枇杷坂橋	藤ノ木2号線	亀沢地内	H10	PC橋	15.5	5.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0111	金ノ尾新橋	金ノ尾3号線	大下条地内	H22	PC橋	15.2	13.3	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0112	さつき野第6橋	さつき野6号線	大下条地内	H10	RC橋	4.4	6.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
S-0113	上ノ田橋	藤ノ木2号線	亀沢地内	H4	鋼橋	19.6	5.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0001	三島橋	穂坂上の山線	宇津谷地内	S50	RC橋	3.3	11.3	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0002	回春橋	駒沢三島線	宇津谷地内	S54	PC橋	38.8	4.9	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	5,600
F-0003	古森橋	橋無上の山線	宇津谷地内	S50	RC橋	4.9	5.5	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0004	北原橋	田畑駒沢線	宇津谷地内	S54	PC橋	36.8	6.9	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R7	9,300
F-0005	駒沢裏橋	駒沢三島線	宇津谷地内	S45	RC橋	2.4	7.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0006	大境橋	下今井駒沢線	宇津谷地内	S54	PC橋	33.5	8.4	H27	II	R4	修繕 剥落対策	R2 (対策済)	—
F-0007	駒沢橋無橋	田畑駒沢線	宇津谷地内	S45	RC橋	3.9	5.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0008	神田橋	滝沢橋無環線	宇津谷地内	S53	RC橋	2.8	5.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0009	北原橋無橋	下今井駒沢線	宇津谷地内	S47	RC橋	3.2	18.7	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0010	道祖神橋	菖蒲沢日影日向線	菖蒲沢地内	S53	RC橋	8.4	4.3	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0011	菖蒲沢橋	団子笠石線	菖蒲沢地内	S42	RC橋	6.6	5.2	H29	III	R4	修繕	R1 (対策済)	—
F-0012	米笠橋	田畑笠石線	宇津谷地内	S41	PC橋	8.5	5.1	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0013	中沢川橋	田畑笠石線	宇津谷地内	不明	C-BOX	2.3	4.7	R2	II	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0014	道尾橋	新田カトリ線	大埜地内	S35	RC橋	2.2	5.4	R2	II	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—

橋梁番号	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	橋梁 分類	橋長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
								最新 点検年度	判定 区分				
F-0016	梅ノ木橋	田畑笠石線	宇津谷地内	S43	PC橋	8.0	5.4	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0017	宇津谷橋	下今井駒沢線	宇津谷地内	S49	鋼橋	151.0	8.8	R2	II	R7	耐震補強	R13	32,000
F-0018	天王橋	7本ノ橋天王橋線	宇津谷地内	S54	PC橋	39.2	4.9	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	6,500
F-0019	笠石橋	東部宇津棟線	宇津谷地内	S54	PC橋	30.9	8.2	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R9	9,100
F-0020	スポーツ橋	志田笠石線	岩森地内	S54	PC橋	32.6	6.9	H30	III	R5	修繕 剥落対策	R3 (対策済)	—
F-0021	中村条橋	中村条峠の腰線	宇津谷地内	S60	鋼橋	11.0	5.3	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0022	岩森橋	下今井駒沢線	岩森地内	S52	鋼橋	150.0	8.8	R3	II	R8	修繕	R4	8,500
F-0023	栗師橋	山本新田線	岩森地内	S54	PC橋	29.6	7.1	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R13	8,800
F-0024	東堀橋	東堀上の山線	岩森地内	S54	PC橋	44.2	6.9	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R12	9,500
F-0025	日向橋	山本中村条線	宇津谷地内	S50	PC橋	18.2	4.6	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0026	岩森2号橋	岩森線	岩森地内	S41	鋼橋	7.6	5.2	R1	I	R6	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0027	新田橋	団子笠石線	団子新居地内	S40	RC橋	2.9	4.6	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0028	堰西1号線	団子大袋線	大袋地内	S54	RC橋	2.1	7.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0029	堰西2号線	大袋滝坂線	大袋地内	S44	RC橋	2.5	7.7	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0030	東川橋	山本中村条線	志田地内	S50	PC橋	10.5	4.9	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0031	下志田橋	志田山本線	志田地内	S50	PC橋	11.3	4.2	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0032	坊沢橋	下今井駒沢線	岩森地内	S48	鋼橋	115.0	8.8	R2	III	R7	修繕	R5	6,000
F-0033	つくし野1号橋	つくし野1号線	岩森地内	S50	RC橋	7.8	6.8	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0034	つくし野2号橋	つくし野1号線	岩森地内	S50	RC橋	7.1	6.7	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0035	学校橋	新町大袋線	岩森地内	H11	鋼橋	48.8	8.9	H30	I	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	15,000
F-0036	塩登橋	新町大袋線	岩森地内	S39	鋼橋	11.4	5.3	R2	II	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0037	塩川端橋	釜無川(伊リッ)0-ド線	宇津谷地内	S50	RC橋	4.7	2.6	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0038	大田橋	釜無川(伊リッ)0-ド線	宇津谷地内	S50	鋼橋	28.1	2.6	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0039	新町橋	双田線	下今井地内	S50	RC橋	13.1	11.0	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0040	車庫2号橋	上町双田道線	下今井地内	S56	RC橋	10.1	5.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0041	車庫1号橋	上町双田道線	下今井地内	S54	PC橋	10.6	4.9	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0042	市道橋	市道線	下今井地内	S54	PC橋	39.6	7.2	H29	II	R4	修繕 剥落対策	R14 以降	9,700
F-0043	沖田橋	滝坂希望ヶ丘線	龍地地内	H25	PC橋	13.5	15.3	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0044	下河原橋	下今井農大線	下今井地内	S63	PC橋	16.6	8.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0045	無名橋	下今井農大線	下今井地内	S64	RC橋	3.0	5.0	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0046	用の沢橋	穂坂上の山線	宇津谷地内	H11	PC橋	9.5	9.7	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0047	双竜橋	大屋敷横町線	龍地地内	H12	鋼橋	42.6	13.9	H29	II	R4	修繕 剥落対策	R8	11,450
F-0048	陣屋橋	田畑上志田線	宇津谷地内	H10	鋼橋	10.5	1.2	R3	II	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0049	無名橋	横町開発三号線	下今井地内	H10	RC橋	2.6	5.9	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0050	無名橋	下今井農大線	下今井地内	不明	C-BOX	5.0	5.0	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0051	坊沢南橋	下今井農大線	下今井地内	H17	鋼橋	20.8	5.2	H29	I	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—

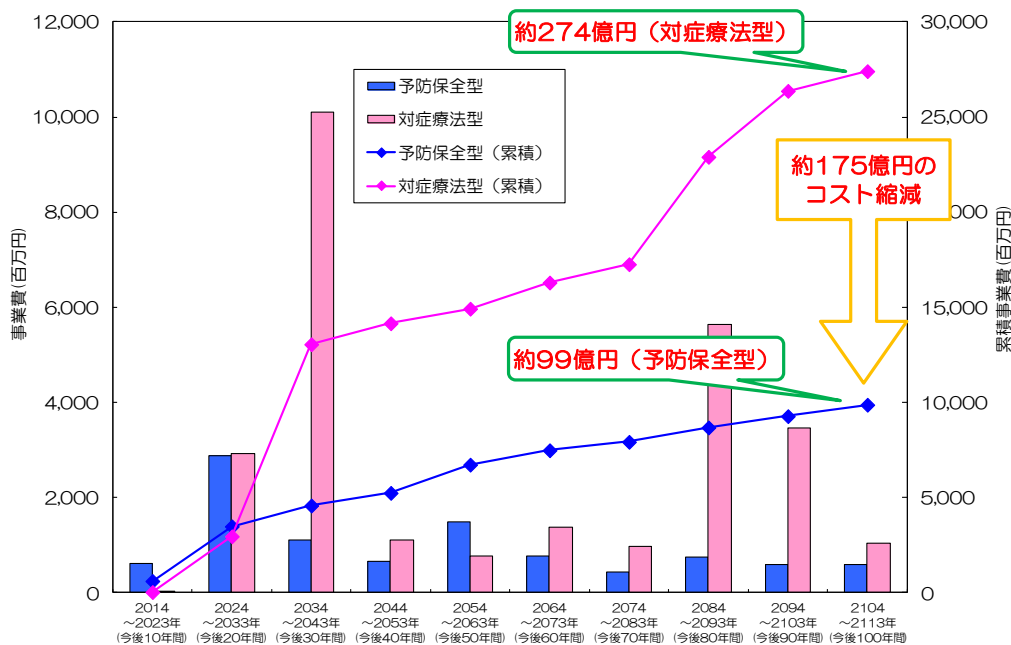
橋梁番号	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	橋梁 分類	橋長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
								最新 点検年度	判定 区分				
F-0052	新町橋歩道橋	双田線	下今井地内	S61	RC橋	15.9	3.4	R3	I	R8	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0053	団子橋	双葉東小学校線	岩森地内	H20	鋼橋	21.0	8.2	H29	II	R4	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
F-0054	塩登橋歩道橋	新町大笠線	岩森地内	H20	鋼橋	16.1	1.9	R2	I	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—
H-0001	烏ヶ池橋	県道希望ヶ丘線	龍地地内	S54	PC橋	62.4	6.9	H29	II	R4	修繕 剥落対策	R6	11,500
H-0002	池久保橋	県道市道橋線	龍地地内	S54	PC橋	45.0	6.9	H29	II	R4	修繕 剥落対策	R10	9,700
H-0003	関谷水路橋	法定外公共物	龍地地内	H12	複合橋	49.4	2.5	H30	I	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	1,300
H-0004	大滝橋	県道学校橋線	龍地地内	H11	複合橋	62.2	4.9	H30	I	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	10,000
H-0006	笠石水路橋	法定外公共物	宇津谷地内	S54	PC橋	36.0	2.0	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R9	900
H-0008	山ノ神水路橋	法定外公共物	宇津谷地内	S54	PC橋	44.6	2.1	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	1,150
H-0009	天王水路橋	法定外公共物	宇津谷地内	S54	PC橋	38.9	2.1	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	1,000
H-0011	駒沢水路橋	法定外公共物	宇津谷地内	S54	PC橋	39.4	3.5	H30	II	R5	修繕 剥落対策	R7	1,050
H-0012	無名	法定外公共物	下今井地内	S40	PC橋	19.9	2.8	R3	II	R8	修繕 剥落対策	R11	1,900
H-0013	無名	法定外公共物	宇津谷地内	S40	PC橋	16.8	2.6	R3	II	R8	修繕 剥落対策	R11	1,600
H-0014	無名	法定外公共物	下今井地内	不明	PC橋	16.0	3.0	R2	I	R7	修繕 剥落対策	R11	1,600
H-0015	学校水路橋	法定外公共物	岩森地内	H11	鋼橋	34.2	3.4	H30	I	R5	修繕 剥落対策	R14 以降	1,000
—	名称	路線名	所在地 (起点側)	架設 年次	構造 分類	延長 (m)	全幅員 (m)	健全性診断結果		次回 点検 年度	対策 内容	対策完了 予定年度	対策に係る 概算事業費 (万円)
—	塩崎ボックス カルバート	新町山本線	下今井地内	H30	C-BOX	21.6	12.4	R2	II	R7	経過観察 (1回/5年点検)	—	—

※1：架設年次は推定値を含みます。

※2：対策内容・時期については、5年に1回実施する点検結果によって見直すことがあります。

7. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する193橋（大型ボックスカルバート含む）について、今後100年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型では約274億円が必要となるのに対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型では約99億円となります。したがって、約175億円（約64%）のコスト削減効果が見込まれます。また、損傷に起因する通行制限等が未然に防止され、ネットワークとしての道路機能の安全性・信頼性が確保されます。



8. 計画策定担当部署

甲斐市 都市建設部 建設課

〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610

TEL 055-278-1668

9. 市民の皆様へのお願い

本計画を実現するためには、市民の皆様のご理解とご協力が必要です。今までも橋の損傷に関する通報（例えば路面が陥没している、防護柵が壊れている）などにより、その対応をしてきました。これがいわゆる「対症療法型」の対応になります。

これからは「予防保全型」の対応が必要となります。また、橋は市民共有の財産との認識をもっていただくと共に、市民の皆様と協働で橋の維持管理を進めていくために、今まで以上に橋の損傷、異常に関する情報提供や、可能な範囲での清掃などのご協力をお願いします。